

関西大学経済・政治研究所 第209回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

20世紀初頭の大阪は、人口と産業規模ともに東京を凌ぐ経済の中心だった。「民衆の都」大阪は、労働者の街でもあった。大阪の社会労働運動は、様々な争点や要求をめぐって展開されてきた。大阪産業労働資料館（エルライブラリー）には、様々な現物資料が残されているが、今回はその中でも謎の多い現物資料である労働組合旗を紹介し、その歴史的・表象的な意味を考えるとともに、それらの旗を残した労働組合の歴史に分け入ってみたい。

＜大阪の社会労働運動と政治経済研究班 主幹 植村邦彦＞

日時：平成27年5月20日(水) 13:00～16:10
会場：千里山キャンパス
児島惟謙館2階第2会議室

【テーマと報告者】

「労働運動と謎の三色旗」

—組合旗の起源と歴史—

大阪の社会労働運動と政治経済研究班主幹
経済学部教授

植村 邦彦

「旗を残した戦前の労働組合」

—三色旗の謎を追う—

大阪の社会労働運動と政治経済研究班委嘱研究員
大阪産業労働資料館館長

谷合佳代子

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員70名)
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179 / FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>



主催
後援

関西大学経済・政治研究所
大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学

